

令和8年6月国見町教育委員会定例会 会議録

1 開会日時 令和8年6月19日(金) 午前10時開会

2 招集場所 国見小学校 コミュニティルーム

3 出席委員 2番 志村 裕美 委員
3番 中村 裕美 委員
4番 菊地 貴雄 委員
5番 石幡 良子 教育長

4 欠席委員 1番 高橋 幸子 教育長職務代理者

5 説明のため出席した職員の職氏名

教育次長兼教育総務課長	穴戸 浩寿
教育施設課長	佐藤 智宏
生涯学習課長	実沢 隆之
教育総務課管理主事兼指導主事	邊見 年成
教育総務課指導主事	吉田 牧子

6 書 記 教育総務課主幹兼総務係長 八島 章
教育総務課主任主査兼こども教育係長 蓬田 祐子

7 傍 聴 者 なし

8 会議の成立

教育長から、教育委員半数以上の出席があり、会議が成立していることが告げられた。

9 会議録署名委員

教育長から、志村裕美委員、中村裕美委員が会議録署名委員として指名された。

10 会期の決定

教育長から、会期は本日1日としたい旨の発言があり、これについて図ったところ、全員に異議無く、そのとおり決定された。

11 会議録の承認

教育総務課長から、令和8年5月定例会会議録について説明があった後、教育長からその承認

の可否を諮ったところ、全員に異議無く、これを承認することに決定された。

1 2 教育長報告

(1) 教育長出席会議等について

教育長から、出席会議等について、別紙により報告した。なお、報告の要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・全国町村教育長定期総会・研究大会

これからの予測困難な時代を生き抜くためには、自ら課題を発見し、他者と協働しながら解決に向かう資質・能力が必要ということを改めて学んだ。そのためには、従来の教師からの一斉教授型の授業ではなく、児童生徒が主体的に考える時間を確保し、対話や協働を通して学びが深まる授業へ変革していく必要がある。「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視した授業改善が求められる。教師の役割も教えることから、学習環境を整えることへと転換する必要があることを再認識した。

この考え方を校長会等でも伝達し、今後も機会あるごとに先生方一人ひとりに周知し、授業改善に努めてまいりたい。

・福島県歴史まちづくりサミット 2026 in 国見

サミットでは、国見町、白河市、棚倉町、会津若松市、柳津町の首長が集い、パネルディスカッションが行われた。「人口を増やす特効薬はないが、今いる子どもたちが将来どの町を選ぶかが大事。そのためにも今住んでいる地域の良さを知ることが大切だ」という意見が複数のパネラーから出された。まちづくりにおける教育の役割の大きさを改めて感じ、総合的な学習の時間における探究的な学びを、これまで以上に意図的・計画的に進める必要があると痛感した。

国見町の子どもたちが「国見町っていいな」「将来は戻ってきて子育てをしたい、恩返しをしたい」と思えるような教育を推進していかなければならないと感じた。

【質疑】

なし

(2) 6月議会定例会について

教育総務課長から別紙により報告した。なお、報告の要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

6月12日から17日まで議会が開催され、6月15日に一般質問が行われた。

- ・佐藤定男議員から、立志式についての質問があり、他市町村の状況や、教育効果、時間的負担、学校・PTA・地域の意見、生徒自身の考えなどを踏まえ、関係者の意見を聴取すると答弁した。
- ・渡辺勝弘議員から、部活動の地域展開について、指導者の安定的な確保策、目標・方針について質問があった。指導者の安定的な確保策については、国の補助金を活用し適正な報酬を

検討と答弁した。また、教員が兼職兼業として無理なく参加できる体制づくりも進める。目標・方針については、令和10年度までに休日の部活動の地域展開完了を目指すとともに、令和13年度までには平日の地域展開にも着手したいと考えていると答弁した。

また、磐越道のマイクロバス事故に関連した質問があり、町では運転手を含めた貸切バスを使用しているため、磐越道のマイクロバス事故のようなレンタカー使用はなく、国の通知内容は守られており、今後示される新たな統一基準も踏まえ、学校や保護者会等で安全確保を再確認していくと答弁した。

- ・佐藤多真恵議員からは、県北中学校の「国見ふれあいルーム」の設置について質問があり、中学校への設置は、小学校での成果を踏まえて必要があれば検討すると答弁した。

【質疑】

○志村裕美委員

以前は部活動で遠征に行く際、保護者が他の子どもを乗せることの事故リスクや保険・補償の問題で、結局遠征が中止になったことがあった。今回の事故を機に、保護者の送迎負担や万が一の際の補償について、線引きが明確にされると保護者も助かると思うため、検討してほしい。

●教育総務課長

教育委員会では国の通知をもとに学校へ指導しており、学校からも保護者へ周知と再確認をしている。

○志村裕美委員

現在、部活動で自分の子以外を乗せて移動するということはないということか。

●教育総務課長

中体連の県大会や東北大会、一部の文化部の大会などは町でバスを借り上げている。練習試合や連盟主催の大会などは各自でお願いしている。

●教育長

練習試合などでは、他の生徒を乗せる状況も全くないとは言えない。しかし、万が一の際、運転してくれた保護者に迷惑がかからないよう、補償について保護者会でしっかり話し合っていただくよう中学校を通して指導する。

○中村裕美委員

小学校のコミュニティルームについて、学校に地域の方が入るのは、児童がメインであってほしいというのが保護者の気持ちだと思う。教育効果が本当にあるのか、きちんと検証していただけないということで心強いと感じた。中学生は忙しいため、地域の方の協力が必要になれば、生徒自らがアポイントを取るなど、時代に即した連携が良いと思う。

●教育長

学校にとっても地域の方にとっても「良かった」と思える効果を出さなければならない。小学校のコミュニティルーム活用では、まずはその効果を検証し、その結果を踏まえ中学校で同様の部屋が必要かどうかを検討していく。

- (3) その他
特になし

1 3 議事

- (1) 議案第 8 号 国見町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命について
教育総務課長から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。
なお、説明の要旨は以下のとおり。

【説明要旨】

委員の交代に伴う新規委嘱・任命を 5 名に対し行いたいとするもの。

【質疑】

なし

- (2) 議案第 9 号 国見町いじめ問題対策専門委員会委員の委嘱について
教育総務課長から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。
なお、説明の要旨は以下のとおり。

【説明要旨】

スクールソーシャルワーカーの委員交代に伴い、新たに委嘱したいとするもの。

【質疑】

なし

1 4 協議・報告

- (1) 専決処分 of 報告について（地域連携・教職員支援員設置要綱）
教育総務課長から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

【説明要旨】

今年 6 月から、教員免許を有する「地域連携・教職員支援員」を、国見小コミュニティルームに配置した。地域学校協働本部と連携し、来校ボランティアの管理、児童と地域の交流支援などを担う。

【質疑】

なし

- (2) 教育総務課報告

教育総務課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。
なお、説明の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

・ 5 月 2 0 日に第 1 回国見町教育支援委員会を開催し、教育相談や就学指導の進め方と今年

度のスケジュール確認、各校の課題について意見交換を行った。

- ・5月30日、にくにみ幼稚園において、アサヒ電子株式会社による園庭除草作業等の奉仕作業を実施した
- ・6月9日、株式会社福梁製作所より国見小学校へ10万円の図書カードの寄贈があった。

【質疑】

なし

(3) 教育施設課報告

教育施設課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

なお、説明の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

- ・第1回給食センター運営委員会を5月29日に開催し、前年度報告と今年度計画の確認を行った。物価高騰に伴い、幼稚園・小学校・中学校の教職員の給食費単価見直しを予定している。値上げの適用開始は第2学期からを予定している。
- ・下校時の熱中症対策として、小中学校に冷凍庫を配置した。あわせてネッククーラーを小中学生に一人一つ配布し、啓発を兼ねて対策を実施した。対策期間は来週月曜日から10月頃までを考えている。

【質疑】

なし

(4) 生涯学習課報告

生涯学習課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

なお、説明及び質疑の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

- ・地域学校協働本部事業では、5月16日、少年仲間づくり教室の開所式が行われ、45名が参加した。5月19日には放課後塾ハルが開講、中学部10名、小学部28名が参加した。5月23日には国見っ子わんぱく広場の開所式が行われ59名が参加した。6月13日には忍者ランド、6月14日にはサッカー教室をそれぞれ実施した。
- ・図書館事業では、今年度の児童図書館実施予定表を作成した。
- ・5月28日、青少年育成町民会議総会を観月台文化センターで実施し、総会后、地域学校協働本部統括コーディネーター大木氏の講演が行われた。
- ・5月28日、第53回福島県小学校・中学校学年別卓球選手権大会に参加する生徒に奨励金を交付した。また、5月22日には第79回福島県総合スポーツ大会ソフトボール競技への参加児童に奨励金を交付した。

(5) その他

- ① 6月コミュニティ・スクール研修会計画について

邊見管理主事兼指導主事から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

【説明要旨】

当初計画にはなかったが、管理職（校長・教頭）の役割を重視し、悩みや心配事を傾聴しつつ町として伴走・助言する形で CS を推進したいとの考えから、講師に文部科学省コミュニティスクール・マイスター 安齋宏之博之先生を迎え研修会を実施する。

●教育長

国見町のコミュニティ・スクールは、11 年目となり形骸化の課題がある。学校経営に効果が出るよう管理職も含めてしっかり研修する。

【質疑】

なし

② 人権教育キックオフ会議計画（案）について

邊見管理主事兼指導主事から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

【説明要旨】

今年度、福島県教育委員会より国見町が人権教育推進地域に指定された。教職員と児童生徒の人権意識を高め、学校・家庭・地域が一体となって進めたい。県義務教育課の意向を踏まえ、町計画を検討するため、6 月 24 日に観月台文化センターでキックオフ会議を開催する。

【質疑】

○志村裕美委員

人権教育の具体的テーマ（いじめ、ジェンダー平等など）は何を重視しているのか。

●邊見管理主事兼指導主事

人権教育は CS と連携して進める。7 月 14 日の CS 委員会において、中学 2 年生と CS 委員で「いじめがなく、安心して学校生活を送るために」をテーマに熟議を行う。幼稚園でも就学前の安心につなげるために CS 委員会を開催する。11 月の国見小学校の人権教育発表も CS と一体で実施する。特別授業ではなく、通常授業の中で何が人権教育に当たるかを検討しながら、例えば名前を「さん」付けで呼ぶなど、当たり前の実践を徹底したいと考えている。なお、東京で開催される北朝鮮拉致問題に関する中学生サミットに県北中学校から 1 名が参加する予定。参加後は学校・地域に広めていく機会をつくりたい。

●教育長

特定テーマに偏らず、当たり前のことを一人ひとりが意識することが大切だと考えている。まず教職員が自らの人権意識を見つめ直し、授業や学校生活に反映させる。持続可能な人権教育にするため、CS と関連付けて進めたい。保護者・地域の方のアップデートも必要で、その点もキックオフ会議で共有する。なお、拉致問題については、自主的に関心を持った生徒の行動は意義が大きい。昨年、家族と共に工作船の展示を見学した経験を踏まえ、今回の参加につながっている。

○中村裕美委員

価値観の変化を知らずに、無意識の加害者になるケースもあり得る。大人のアップデートや周知が重要である。

●教育長

意見を踏まえ、今年度の進め方を具体化していきたい。

① 7月定例教育委員会

教育総務課長から、7月教育委員会について、7月21日に観月台文化センターで開催予定であることが確認された。

② 当面の予定

教育総務課主幹から、7月16日から17日にかけて岩手県盛岡市で開催される「令和8年度東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会」の行程について確認された。

15 閉 会 午前11時30分閉会